



いつでも、チャイルドライン。 いざとなったら、チャイルドライン。

チャイルドラインは問題の解決を目的とせず「子どもの声」をうけとめる電話です

なんとなく誰かと話したいとき、ひとりでさみしいとき…うれしいこと、悲しいこと、楽しいこと、つらいこと、どんなことでも子どもの声に耳を傾けます。説教や指示・命令はしません。いちばん大切にするのは「子どもたちの気持ち」です。

課題があったら、子どもとともに考えていきます。自分の頭で考えて選択する、そのプロセスこそが大切で、それが子どもたちの力になり、生きる礎になっていくとわたしたちは考えます。

電話データから見る「子どもたちの今」



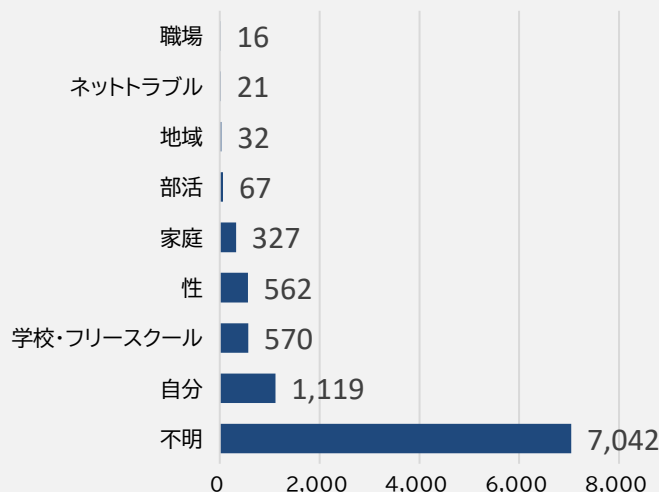
「よこはまチャイルドライン」は2002年から、週1回2回線の開設で活動をはじめ、その後2003年には週2回2回線へ増設、また2012年からは週3回3回線へと増設しながら、神奈川県に住む子どもたちの声を受けとめてきました。加えて2022年3月からはさらに体制を強化し、神奈川県内のみならず全国の子どもたちからの電話を受けています。

「最近の子どもは電話なんてしない」そんな声をよく聴きます。しかしSNSを通じたオンラインでの交流が増える中、チャイルドラインの会話成立件数は20年ほぼ変わらず、チャイルドラインが子どもたちから求められ続けていることがうかがえます。

2025年度総着信件数 9,756件



電話内容内訳



2025年度の電話の着信件数は9,756件でした。

自分のこと、学校やフリースクールでのこと、また家庭のことや性のことなどさまざまな内容の話を受けとめました。

すぐ切れた、無言といったいわゆる不成立の電話が約7割をしめますが、わたしたちはそれらも「声にならない声」として大切にしています。子どもたちにとって知らない大人に電話をかけることは勇気のいることです。その気持ちを考慮し、話せるようになるまでじっくりと待つ。無言の時間を意味のあるものにできるのは電話だからこそではないでしょうか。

メールマガジン始めました

NEW

よこはまチャイルドラインでは2025年6月よりメールマガジンの配信を始めました。こちらでは毎月の電話データ及びそこから見る「子どもたちの今」をお伝えしています。ぜひご覧ください。

登録はこちらから



より詳しい情報は
ホームページで

よこはまチャイルドライン



わたしたちの活動を一緒に支えてください。

よこはまチャイルドラインの運営は主に寄付で成り立っています。わたしたちはみなさまの支援を必要としています。

みなさまの寄付でできること



◎フリーダイヤル運用の維持への支援

子どもたちが安心して電話をかけてくれるためにフリーダイヤル運用の維持を目指します。



◎子どもたちへのチャイルドライン普及活動への支援

神奈川県内学校に通う小中学生にはチャイルドラインカードを、高校生には校内へ掲示していただくポスターを各学校へ配布します。



◎受け手ボランティアの養成及び研修活動への支援

子どもたちの声を受けとめる「受け手」は全員ボランティアとして活動しており、2026年度現在73名の登録があります。週3回1日4～8名のシフトで開設を維持するために必要なボランティアを隔年で行われる講座にて養成し、また受け手になってからも継続的に学んでいくために研修を重ねます。

ご支援の方法



賛助会員となる

賛助会員になってチャイルドラインの運営を応援してください。

年会費

4,000円/個人一口

50,000円/法人一口

お振込み先

ゆうちょ銀行 当座 〇二九店13812

【口座番号】ゆうちょ銀行 00270-6-13812

【口座名】NPO法人よこはまチャイルドライン



Syncable(シンカブル)を通じたご支援

継続的な支援はもちろんスポットでも。

<https://syncable.biz/associate/Yokohama-childline/donate>



Syncable

Syncable(シンカブル)とは？

個人と非営利団体を繋ぐ、ソーシャルアクションを促す寄付のプラットフォームサービスです。全国のNPOへ寄付ができたり、応援したいNPOのために気軽に寄付を集めることができます。各種クレジット・Amazon Pay・銀行振込をご利用いただけます。



QRコードはこちら

